

港町 木更津 かわら版

平成廿一年春

港町木更津暦

暦の上では、立春から新しい年を迎えます。日々の暮らしの中で季節の移ろいを感じてみて下さい。

二月・如月【きさらぎ】

三日(火)節分
●節分会

午後六時より七時半まで
八劔八幡神社にて



四日(水)立春
六日(金)
●初午

午前十時から午後五時まで
稲荷神社にて

八日(日)

●針供養

午前十時から十一時半まで
成就寺にて

十一日(祝)建国記念の日
紀元節

十四日(土)聖バレンタインデー
十八日(水)雨水

三月・弥生【やよい】

三日(火)上巳の節句・雛祭り
五日(木)啓蟄



十四日(土)ホワイトデー

●潮干狩り

木更津海岸中の島公園にて

十七日(火)春彼岸
廿日(祝)春分の日
廿四日(火)春社日
廿八日(土)



●收藏展 浮世絵
「広重の描いた房総」
木更津市郷土博物館
金のすずにて

四月・卯月【うづき】

五日(日)清明

●金鈴まつり

太田山公園にて

●矢那川桜まつり

矢那川公園にて



平成廿一年 己丑 春号

十七日(金)春土用
廿日(月)穀雨
廿六日(日)

●木更津甚句全国大会

午前九時から午後五時まで
木更津市民会館にて
廿九日(祝)昭和の日

五月・皐月【さつき】

二日(土)八十八夜

三日(祝)憲法記念日

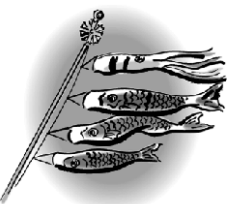
四日(祝)みどりの日

五日(祝)こどもの日・立夏

端午の節句

●矢那川鯉のぼりまつり

矢那川公園にて



六日(休)振替休日

九日(日)

●寺町落語会 選擇寺寄席

選擇寺にて



八劔八幡神社
富士見一六十五
電話(二三)八八八一



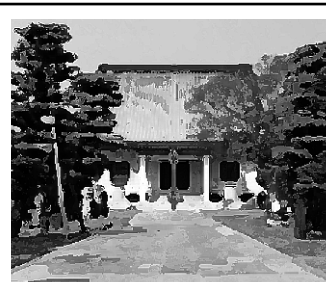
満足山成就寺
富士見一九十七
電話(二三)五九五四



吉祥山光明寺
中央一三三五
電話(二三)三六〇三



護念山證誠寺
富士見二九三十
電話(二二)二〇一八



鶏頭山西林院 選擇寺
富士見一五十六
電話(二三)二二九三



瑠璃光山 東善寺 愛染院
中央一三十五
電話(二二)三九七六

観光案内所で

常時お待ちしております。

居ります。

●会員募集中

ボランティアガイド
木更津みち案内人協会
富士見一〇二一
電話(二二)七七一一
(木更津市観光協会)

創業慶應二年

蔵ぶりの店

国産乾物一般

取り揃えております。



ヤマニ綱島商店

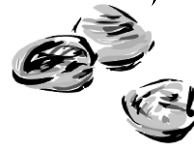
中央二五九九
電話(二二)二〇二九

春の行楽・娯楽

●潮干狩り

港町木更津の「春の風物詩」と言えば潮干狩りです。中の島大橋の先、木更津海岸・中の島公園で楽しむことができます。

三月十四日(土)より
木更津海岸
中の島公園にて



料金(個人・網付き)

大人(中学生以上) 千四百円
小人(四歳かゝ小学生) 七百元
三歳以下は無料
二十五名様以上は団体割引有
電話(二三)四五四五
木更津漁業協同組合

港町木更津の歴史と伝承(一)

「木更津」という名称

「木更津」という地名は日本武尊の東征にまつわる伝説の「君不去(きみさらづ)」から生まれ、たというのが最も良く知られている説です。

そのほか木更津の港湾の地形が耳たぶに似ていることから、アイヌ語で耳たぶを表す「キサラプ」から「キサラ津」と呼ばれたのではないかと説や、キサゴ貝が多く生息しているから「キサゴの津」が「キサラ津」にな

●お花見

我々には、古くから「自然を愛する風習」があります。初春の「梅」も人気がありますが、やはりお花見と言えば「桜」でしょうか。港町木更津の桜の名所をご紹介します。是非、足を運んでみて下さい。



太田山公園 大田二丁目
矢那川公園 大和二丁目
長楽寺 請西九八二
祥雲寺 請西一〇一二
東光院(峯の薬師) 桜井一四五〇

●收藏展 浮世絵 (広重の描いた房総)

三月廿八日(土)から
五月十日(日)まで
木更津市郷土博物館金のすずにて
太田二一六六二
電話(二三)〇〇一一

●木更津甚句全国大会

郷土芸能の一つ「木更津甚句」を聴いてみては如何でしょうか。



四月廿六日(日)
午前九時半から
木更津市民会館にて
貝淵二一三・四〇
入場料無料
電話(二三)七七一一
木更津甚句全国大会実行委員会事務局

ったのではないかと説、あるいは七世紀後半の防人たちが毎年二月の「如月」の頃にこの海辺から出征し、帰還したことから「きさらぎの津」が「きさらづ」の地名として知られるようになったのではないかと説などがあります。

その後、元禄六(一六九三)年に書かれた「木更津船由緒書」の頃には「木更津」が公的に使われ始めたと考えられています。

「木更津」を示す言葉が表されているもので現在発見されている最古のものは、茂原市三ヶ谷の永興寺の釈迦如来像の胎内から発見された文永十(一二七三)年の願文中の「きさらすの女房」という記述です。

寛文四(一六六四)年に徳川将

第五十七回 金鈴まつり

四月五日(日) 太田山公園にて

午前九時半から午後四時まで

金鈴まつりは、金鈴塚古墳からの出土品と埋葬者の霊を祭るために、太古のロマンを伝える太田山公園で始められ、今年で五十七回目を迎えます。太田山公園は県下でも有数の桜の名所で、まつりは春爛漫、満開の桜の下では舞台がしらえられ、芸能ショーをはじめ、市民が日頃の練習の成果を発表する場として一日中楽しい催しが繰り広げられるほか、呈茶・甘酒の無料サービスも予定されています。

また、三月二十七日から四月五日まで、夜桜見物をお楽しみいただけるよう公園内がライトアップされます。

金鈴まつり実行委員会事務局

富士見一〇二一
電話(二三)七一一

第十回

木更津矢那川桜まつり

四月五日(日) 矢那川公園にて

○売店(和菓子、焼きそば、お弁当、飲み物ほか)

○桜まつり、鯉のぼりまつりの写真展示

○太鼓、よさこいソーラン、正調木更津甚句保存会

三味線、日舞など

今年には夜桜鑑賞会を四月二日、三日の午後六時から八時まで行います。スライド映写会と甘酒サービスを予定しています。川面に映る桜が幻想的で引きこまれそうな程。是非一度いらして見てください。

矢那川桜まつり実行委員会

事務局：鈴木

文京三一一九
電話(二五)三二二五

港町木更津 名所地図



収蔵展 浮世絵

「広重の描いた房総」

三月二十八日(土)から
五月十日(日)まで

開館時間
午前九時より午後五時まで
休館日
月曜日
(月曜が祝日の場合はその翌日)

観覧料
一般……………二百円
大学・高校生……………百円
中学生以下・六十五歳以上…無料



木更津市郷土博物館
金のすず

太田二十六二
電話(二三)〇〇一一

第六回木更津甚句全国大会

四月二十六日(日)

午前九時半から午後五時まで
木更津市民会館にて 入場無料

木更津甚句は、安政年間に江戸落語界にあった木更津亭柳勢が高座で歌い、江戸界隈で大流行。一時すたれたものの、大正時代に若福という芸妓がお座敷で披露して再び東京で大流行し、やがて全国に広がりました。伝統のある木更津甚句を伝えていくためにも、広く、皆様のご来場をお待ちしております。

木更津甚句全国大会実行委員会事務局

富士見一・二・一 電話(二三)七一一一

「港町木更津かわら版」 創刊にあたって

— 歴史を生かした街づくりに向けて —

木更津市の中心市街地活性化を推進する「木更津TMO推進協議会」の分科会組織として発足した「ヒストリー分科会」は、「歴史を生かした街づくり」をテーマに、平成十五年十二月より活動を行っております。

活動当初、地域の方々とお話をする、「木更津には人を呼べるような歴史や観光資源がない」「歴史を活かした街づくりは難しい」という意見が非常に多く、正直、何から始めていいのか皆目、見当がつかない状況でした。

しかし、調べてみると、木更津は古東海道に繋がる西の海に開かれた町で、「金鈴塚古墳」や「大塚山古墳」など多くの古墳が存在し、そこから全国的にも、また世界的にも非常に希少な遺物が出土されていることから当時は非常に重要な地域であったことが想像できますし、「日本武尊」「藤原鎌足」「源頼朝」などに纏わる多くの伝説・逸話が存在し、著名な方々が多数訪れ、活動していたという史実が存在しているのです。さらに、近世には「徳川幕府」から賜った由緒書に基づき海上交通の要

衝の地となり、江戸に直結した「房総有数の商業地」として栄え、独自の「港町木更津」の文化を育み、その流れを受けて今に至っているという歴史の流れは、非常に魅力的であると思います。

ヒストリー分科会では、「出来ることから始めて、続けていきたいと思います」ということで、郷土史家の高崎先生、木更津みち案内人協会の会員の方々をはじめ、木更津商工会議所、木更津市役所、木更津市観光協会の方々や地元の寺社の方々のご協力を戴き、「まずは港町木更津を一緒に歩きましょう」「ご案内させて戴きます」ということで、参加戴ける方を公募し、「港町木更津歴史探訪」を平成十六年七月から開始し、昨年、平成二十年の開催で六回となりました

参加された方々にお話を聞くと「木更津にこんなところがあったんですね」「木更津でこんなことが行われているんですね」と、新たな発見や体験に満足して戴いており、喜ばしく思う一方、「まだまだ、知られていない」という努力しなければならぬ点を知ることができました。

このような経緯を経て、今回「港町木更津かわら版」を創刊させて戴くことになりました。少しでも多くの方に「港町木更津」にあるもの、「港町木更津」で行われていることを「知って」戴き、そして「来て」戴き、さらに「楽しんで」戴くことのお役に立てば幸いです。

ヒストリー分科会
スタッフ一同

港町木更津の
ホームページを
開設しました！

ウォーターヒストリー事業委員会では、「港町木更津」のホームページを開設致しました。是非、ご覧下さい。

<http://www.fairs.co.jp/phinatnachi-kisazaki>
※ 皆様からのご意見を募集しております。

港町木更津かわら版

平成廿一年春号(第一号)

発行日 平成廿一年春

発行者 木更津TMO推進協議会
ウォーターヒストリー事業委員会

事務局 木更津商工会議所

〒二九二・〇八三八
潮浜一・七七・五九
電話(三七)八七〇〇

潮干狩り

三月十四日(土)から

木更津海岸中の島公園にて

● 入場料金

大人：千四百円(二キログラムまで)

小人：七百円(一キログラムまで)

※大人：中学生以上

小人：四歳以下小学生

※三歳以下入場無料

※団体(二十五名様以上) 割引あり

● 超過採貝量料金

一キログラムにつき……………七百元

● 網袋代(竹網一袋)……………二百円

● 熊手代(一丁)……………二百円

● 休憩料金

大人：二百円

小人：…百円

※表示料金は、すべて税込価格です。

木更津漁業協同組合

中央三・一四・一十一
電話(二三)四五四五

